

平成24年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議  
畜産草地部会 現地研究会 開催要領

畜産草地部会長 畜産草地研究所畜産研究支援センター長 澤村 篤

1 趣 旨

国内・地域内畜産物の安定的な生産拡大には、国産飼料基盤に立脚した生産体系の確立およびブランド化等による安定的消費構造の構築が必要である。国産飼料資源としては、水田を活用した飼料用米のほか、低・未利用資源の飼料化が進められている。また、ブランド化や高品質畜産物生産に向けては、飼料用米やエコフィードを活用した高品質の豚肉、鶏肉、鶏卵生産などが各地で開始されている。さらに、競争力を強化するには、食品残渣等のエコフィードを活用した低コスト化が求められる。

そこで、地域特産のエコフィードの活用や飼料用米と地域特産家畜を用いたブランド畜産物生産の取り組みについて最新情報を提供してもらい、現状の課題を整理するとともに今後の展望について論議する。

2 日 時

平成24年10月1日（月）13：30～2日（火）12：30

3 場 所

(1) 1日目

アクトシティ浜松 研修交流センター62会議室

（浜松駅北口より徒歩10分程度 静岡県浜松市中区中央3-9-1）

(2) 2日目

浜名酪農業協同組合TMRセンター（静岡県浜松市西区白洲町867-1、053-487-5399）

とうもろこし生産圃場（耕作放棄地の有効活用）

4 検討事項

テーマ「エコフィードを活用した低コストTMR給与技術」

(1) 1日目

1) 話題提供

①飼料用米を利用した鶏肉生産

代表取締役 青木善明 （㈱青木養鶏場）

②茶粉を利用した地域特産鶏の生産

主任研究員 松井繁幸 （静岡県畜産技術研究所・中小家畜研究センター）

③飼料用米の肉牛への給与技術

主任研究員 樋口幹人 （畜産草地研究所家畜飼養技術研究領域）

④エコフィードを活用した低コストTMR給与技術の検討  
上席研究員 小林幸恵 (静岡県畜産技術研究所)

⑤浜名酪農協TMRセンターの概要  
代表理事組合長 伊藤光男 (浜名酪農業協同組合)

2) 総合討議

3) 技術的課題等に関する意見交換

(2) 2日目

1) 現地検討

①浜名酪農業協同組合TMRセンター

②現地圃場見学

12:30頃にJR浜松駅で解散の予定

5 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政普及部局、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、民間研究機関、大学、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、(独)農業生物資源研究所、(独)家畜改良センター、その他部会長が認める者

6 連絡先(事務局)

畜産草地研究所企画管理部業務推進室交流チーム長 米本 正弘

TEL 029-838-8249 FAX 029-838-8606

7 その他

参加・宿泊申込、その他詳細については、別紙の事務連絡をご参照下さい。